

図書館講演会のお知らせ

その1

受付終了

「ムーミン谷に魅せられて ～物語とフィンランドの魅力～」

みなさんはムーミンの物語を読んだことはありますか？講演会では、フィンランドの民族楽器「カンテレ」の音色を聴きながら、ムーミンの物語と、物語が生まれたフィンランドという国の魅力をたっぷり楽しんでいただきます。

日時 1月25日（土）午後2時～4時
会場 ルミエール府中1階 第1・2会議室
対象 小学校高学年以上の方
定員 先着50人
講師 大橋はるか氏（埼玉県立熊谷図書館司書）
はざた雅子氏（カンテレ奏者）

その2

「人を支える動物の力 ～刑務所や少年院での実践から～（仮）」

『わたしの病院、犬がくるの』（岩崎書店）、『ギヴ・ミー・ア・チャンス 犬と少年の再出発』（講談社）など、ヒトと動物の絆をテーマに数多くの本を出版されている大塚敦子さんを講師に、病気や障害、犯罪などによって社会の周縁に追いやられた人々の視点から、ヒトと動物の関係をご講演いただきます。

日時 3月20日（金）午後2時～4時
会場 ルミエール府中1階 第1・2会議室
対象 中学生以上の方
定員 先着50人
講師 大塚敦子氏（フォトジャーナリスト・ノンフィクション／写真絵本作家）
申込み 2月21日（金）から受付開始
午前9時から午後7時に、中央図書館へ電話または来館（5階）

※詳細は広報ふちゅう2月21日号、館内のポスターチラシをご確認ください

府中市 図書館 だより

第53号

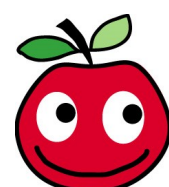
令和2年1月4日
発行 府中市立図書館



「りんごの棚」って？

「りんごの棚」にはさまざまな私たちの本があります。読みやすい大きな文字で書かれた本や、点字のついた絵本、布でできた絵本など、色々なかたちでお話を楽しめます。自分にとって読みやすい本を「りんごの棚」で見つけてみませんか。

中央図書館 児童室に
「りんごの棚」が
できました



画像提供：
Barnens bibliotek

「りんごの棚」のはじまり

「りんごの棚」は1990年代にスウェーデンの公共図書館で、「すべての子どもが本を必要としており、読書のよろこびを体験する権利がある」という考えのもと始まりました。言語障害のある子どものために作られたりんごのおもちゃが名前の由来です。

府中市立図書館では、大活字本や布の絵本など

どを「りんごの棚」にあつめました。場所は3階児童室登録カウンター隣の隣です。

保護者の方も、ぜひお子さんと一緒に手に取ってみてください。お子さんにどのような本を読んでもあげたいのか迷った時に「りんごの棚」の本が役に立つかもしれません。

こんな本があるよ

●点字絵本
目の見えるひとと見えなひとと読める、点字がついた絵本です。

●大活字本
大きくてはっきりした文字で書かれた本です。

●さわる絵本
いろいろな素材でできた絵をさわって楽しむことができます。

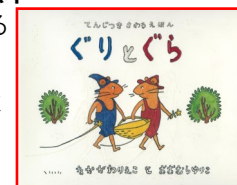
『さわってごらんピーターラビット さわるしかけえほん』ピエトリクス・ポター／さく（大日本絵画）

●布の絵本
絵をボタンやマジックテープでついたりはずしたりできます。



●点字付きさわる絵本
点字がついたさわる絵本もあります。

『てんじつきさわるえほん ぐりとぐら』中川李枝子／さく 大村百合子／え（福音館書店）

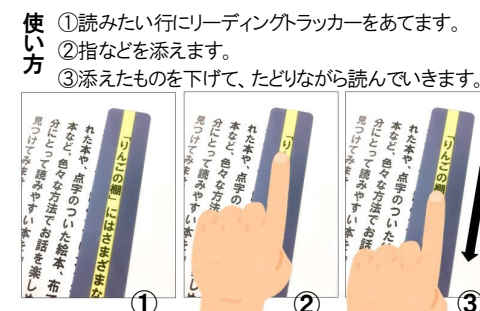


『どうぶつ』（ふきのとう文庫）
『おむすびころりん』（ふきのとう文庫）



使ってみよう 「リーディングトラッカー」

読みたい行に集中できるように、となりの行を隠せる道具です。透明、黄色、ピンク、緑、青のなかから自分にあった色を使ってください。「りんごの棚」と登録カウンターで館内貸出しています。



布の絵本製作ボランティア 「ちくちく」

府中市立図書館では、布の絵本の製作をボランティアグループ「ちくちく」の皆さんにお願いしています。紙の型紙をもとに布を切り抜いて、ひと針ひと針縫ってくださっています。

府中市立図書館ホームページ＞こどものページ＞「りんごの棚」のページから、資料のリストがご覧いただけます。
<https://library.city.fuchu.tokyo.jp/kids/apple.html>

★の催しは予約制です

中央図書館の行事予定

1月

25日（土） 図書館講演会
「ムーミン谷に魅せられて
～物語とフィンランドの魅力」★

2月

16日（日） 図書館ガイドツアー
29日（土） 図書館は宝の山シリーズ「おりがみ」

3月

20日（金） 図書館講演会
「人を支える動物の力
～刑務所や少年院での実践から～（仮）」★
25日（水） 図書館員体験ツアー
28日（土） ビジネス支援（企業講演会）★

OPAC検索案内のお知らせ

館内の検索機（OPAC）のご案内です。検索機は資料探しに欠かせません。触ったことのない方でも大丈夫！マンツーマンで入力のコツなど、質問内容に合わせて15分程度のご案内をいたします。
毎週水曜と最終週の日曜、午後2時～3時半の間に3階の総合カウンターへお申し出ください。

掲示板

■休館のお知らせ

▽蔵書点検のため、次の日程で休館します。

	館名	日程
1月	白糸台	20日（月）～22日（水）
2月	西府新町	17日（月）～19日（水）
3月	武蔵台 紅葉丘	2日（月）～4日（水）

■全館休館のお知らせ

2月3日（月）は電気設備点検による図書館システム停止のため、図書館は市内全館で休館となります。ホームページにもアクセスできません。ご了承ください。

お問合せ

府中市立中央図書館
〒183-0055 府中市府中町2-24
TEL 042-362-8647
ホームページアドレス <https://library.city.fuchu.tokyo.jp>

もうすぐやってくる!!

東京2020 オリンピック・パラリンピック

第3回

オリンピック文学を
愉しむ

文学作品の舞台として多いのは、やはり1964年の東京オリンピックです。当時は戦後の復興を世界へアピールするためにオリンピックの招致に尽力し、成功を願う多くの人がありました。

『東京にオリンピックを呼んだ男 強制収容所入りを拒絶した日系二世の物語』（高杉良／著 光文社 2013）は、戦後わずか復興した祖国日本を世界に見せようとオリンピック招致をめざし票の獲得に奮闘した、二重国籍の二世である和田勇氏の物語です。日系二世の人々の祖国への思いが描かれています。

念願かなって東京でのオリンピック開催が決定された後は、大会を何としてでも成功させようと陰で支えたプロフェッショナルたちがたくさんいました。『TOKYOオリンピック物語』（野地秩嘉／著 小学館 2011）は、空前絶後のプロジェクトを成功させるために集められた建築家、技術者、カメラマン、シェフ、デザイナーなどの専門家の活躍の記録です。

そんな成功を支えた仕掛け人たちを主人公にしたフィクションが、『リスタート!あのオリンピックからはじまったわたしの一步』（伊多波碧／著 出版芸術社 2019）。コンパニオンや東京を整備する都知事の秘書室、選手村の料理人見習いなど裏方の世界を描きつつ、働く女性の未来への第一歩の物語でもあります。

また、多くの国民にとっても、オリンピックは大きな出来事でした。『オリンピックがやってきた 1964年北国の家族の物語』（堀川アサコ／著 KADOKAWA 2017）はタイトルのとおり、青森の片田舎で暮らす三世代7人家族の日常を描いた小説です。戦争の影を残しつつ、カラーテレビに盛り上がり、お茶の間に起こる事件に右往左往する普通の人々が登場する短編連作集です。

東京2020オリンピック開催に向けた準備が急ピッチで進んでいますね。地元で開催されるオリンピックでは、出場する選手だけでなく、運営する人、働く人、観る人等、多くの人々が大きな影響を受けます。今回は、オリンピックを題材にした文学をご紹介します。

もちろん、選手を主人公にしたスポーツ文学も多くあります。『オリンピックへ行こう!』（真保裕一／著 講談社 2018）は、卓球・競歩・ブラインドサッカーで日本代表をめざすアスリートを描いた短編集。スポーツ小説でも定評のある作家によるノンフィクション『夏から夏へ』（佐藤多佳子／著 集英社 2008）もあります。後者は世界陸上大阪大会へ臨んだ日本代表チームが、北京オリンピック（2008）へ挑むまでの1年間の記録です。どちらの作品も、悩みや葛藤を乗り越えてオリンピックをめざす選手たちの姿に力が入ります。

ミステリー好きの方にはこちら、『オリンピックの身代金』（奥田英朗／著 角川書店 2008）、『コヨーテの翼』（五十嵐貴久／著 双葉社 2018）。前者は1964年、後者は2020年の東京オリンピックが舞台で、テロリストと警備する人たちの息もつかせぬ攻防を描きます。

そして、過去、現在だけでなく未来を描いた作品も。『僕はロボットごしの君に恋をする』（山田悠介／著 河出書房新社 2017）は、東京で3度目のオリンピックが開催されることになった2060年、大会当日に起こるテロ事件が舞台です。



いろいろ読みたい!と思う方には、こちらもおすすめ。『作家たちのオリンピック 五輪小説傑作選』（細谷正充／編 PHP研究所 2018）は、浅田次郎氏、海堂尊氏などの人気作家による、オリンピック誘致に奮闘する地域や出場する人、観る人などの様々な切り口の作品集。『オリンピック』（千野帽子／編 KADOKAWA 2016）は、オリンピックを舞台に描かれたアンソロジーで、古代オリンピックや東京オリンピック、また誰にも注目されなくなった未来のオリンピックを描いた「走る男」（筒井康隆／著）など、多様な作品が収録されています。

ハラハラドキドキ、ほのぼのするものから考え込んでしまう作品までたくさんありますので、好きな作品を手にとってみてくださいね。

～おはなし会へようこそ!～

おはなしの森(3歳～小学生対象)では、絵本の読み聞かせや昔話、おはなしの語りなどを行います。参加者には、おはなし会のカードとシールをプレゼントします。

ちいさい子のためのおはなし会(1・2歳児対象)では、絵本の読み聞かせのほか、手遊び、わらべうたを行いますので、親子で楽しんでいただくことができます。

いずれも保護者の方との参加もOKです。お気軽にご参加ください!

おはなし会の
日程 1月～3月

ご案内

「おはなしの森」では絵本や昔話の読み聞かせを、「ちいさい子のためのおはなし会」では赤ちゃん絵本の読み聞かせやわらべうたを行っています。

〈おはなしの森〉

●中央図書館 対象 3歳～小学生(保護者同伴可)

日時／

①1～3月の毎週木曜日 午後3時半～4時

②1月4日、2月1日、3月7日(土)

午前11時～11時半

●地区図書館

日程／

押立・宮町図書館

—— 1月8日、2月5日、3月4日(水)

白糸台・西府・片町図書館

—— 1月8日、2月12日、3月11日(水)

新町図書館 —— 1月15日、2月12日、3月18日(水)

武蔵台・是政図書館

—— 1月15日、2月19日、3月18日(水)

四谷図書館 —— 1月16日、2月20日、3月19日(木)

紅葉丘図書館 — 1月29日※、2月5日、3月11日(水)

住吉・生涯学習センター図書館

—— 1月22日、2月26日、3月25日(水)

時間／午後3時半～4時

※紅葉丘図書館の1月29日(水)は午後2時半～3時

〈ちいさい子のためのおはなし会〉

●中央図書館 対象 1・2歳児と保護者

日時／ 1～3月の第2・4木曜日

午前10時半～11時

☆おはなし会の後に絵本のプチ講座も行います。

●地区図書館

日時／ 地区図書館「おはなしの森」と同日の

午前10時半～11時

※四谷図書館のみ

1月15日、2月19日、3月18日(水)